

報道関係者各位

ニュースリリース

2020年10月吉日

アドバンテック株式会社

製造業へのIoT技術の導入における課題について考える

第3回 『Advantech Gateway Forum』 事後レポート

～「データ・ゲートウェイ」とは？～

産業用コンピュータの分野において世界トップシェアのアドバンテック株式会社（Advantech Co., Ltd. 本社：台湾台北市／日本法人：東京都台東区、以下 アドバンテック）は、9月29日（火）に『Advantech Gateway Forum』をZoomウェビナーにて開催しました。

<セミナー内容>

9月29日に開催された第3回『アドバンテック・ゲートウェイ・フォーラム』では、前回の「マシン」に続いて、「データ」の収集と活用法を中心に、製造業×IoTをすすめるうえで不可欠な「データ・ゲートウェイ」の課題についてパネリストと議論を重ねました。

今回のセミナーには206名がオンライン上で参加し、「データ・ゲートウェイ」に対する理解を深めました。



(左から)

古澤 隆秋

Michael Pulling



(左から)

岡田 晋介 氏

小泉 耕二 氏

今回は、製造現場や工場における「データ活用はそもそも何が大事なのか?」、「効率的な設備データの収集・管理方法は?」等、製造業×IoTをすすめるうえで不可欠な課題についてパネルディスカッションを行いました。

まず、アドバンテック株式会社 Industrial IoT 事業部統括責任者 古澤 隆秋より、「工場向けのIoTを活用した取り組み」の中で、「稼働管理（総合設備効率OEE・エネルギー効率管理FEMS）」について解説しました。前回のセミナーでは、現場におけるIoT導入のカギである「わかりやすく簡単」、「専門知識を極力なくても問題ない」、「安価に実現できる」という3つのポイントを紹介しました。しかし、「現場でリアルタイムにデータ状況を確認したい」、「過去のデータ状況も見たい」というニーズがあることから、アドバンテック株式会社IIoT事業部 PSM（プロダクト・セールス・マーケティング）のMichael Pullingより、「WebAccess」を紹介しました。

続いて、「WebAccess」のハードウェアについて、実機を見ながら説明しました。説明を聞いた小泉 耕二氏からは、「こんなに多種多様なシーンに合わせた製品を持たれていて、実際こういった形をしていることによって産業用に使いやすい様々な特徴がある。」と、感心のお言葉をいただきました。



製品説明の様子

さらに古澤から「工場IoT化に立ちはだかる障壁」として、「組立であればPLC、加工であればCNC、検査であればPLC+PCといった、それぞれのシーンにおいてシステムを構築しているケースが多い。それぞれの現場にあるデータをまとめて活用したいとなると、メーカーのプロトコルとドライバが必要になる。アドバンテックは約450種類のドライバを持っており、それぞれの現場に適したものを提供するのはもちろん、新しいマシンには新たなドライバも開発できる体制になっている。」と話し、それについて小泉氏は、「フィールドデバイスに対する対応力が高い」とコメントしました。

加えて、古澤は「現場の生産情報をグラフ化したいというニーズが多いため、多彩なグラフ表示を可能にしている。また工場の位置情報を確認できるようGoogleとの連携や、さらに3D化も対応している。通常だとクラウドの世界だけで対応可能だったが、Webアクセス無しで利用できるのが特徴。」と説明しました。



現場の意見として、「これだけ機能が多彩だと、設定が難しいという声もありそうだが、簡単にできるのか。」という小泉氏からの質問に対しては、アドバンテック株式会社IIoT 事業部 中小企業診断士の松本から、実際の操作画面を見せながら、「すごく簡単。工場の中で起こっていることを吸い上げ、その結果をどのようにして見るかも簡単な設定で可能。工場が複数あると、現場で管理するには限界があるが、岡田さん（IIJ）の持っているクラウドサービスが役に立つ。」と解説しました。

第3回セミナーの総括として、岡本氏は「当然、用途やコストを鑑みて、まずは一つの現場でのデータ活用からスタートするケースが多いと思うが、一方でそのデータを一つの業務やラインだけに留めてしまうのはもったいない。すべての工場を束ねてデータ活用を実施するのは、なかなかハードルが高いとは思いますが、ぜひ安全なネットワーク・クラウドサービスを使って、まず隣の部門などとデータを共有して知見を出し合うところからスタートしてもらえると、新たな発見があるのではないかと思う。」とコメント。

また古澤は、「なかなか変化が難しい環境もあるかと思うが、小さいことから始めてみると、意外と早く結果が変わることがある。どんな些細なことでも相談してほしい。」とまとめて、本セミナーを締めくくりました。

<開催概要>

『アドバンテック・ゲートウェイ・フォーラム』とはスピーカーが単にウェブカメラに向かって話すだけのセミナーではありません。各回IoTの業界で活躍されている方をゲストにむかえて、「ゲートウェイ」について濃いパネルディスカッションおよび視聴者との質疑応答を行う、インタラクティブなオンラインセミナーです。

- 開催日時 : 2020年9月29日（火） 13:30～15:00
- セミナートピック : 「データ・ゲートウェイ」とは？
- モデレーター : 株式会社アールジーン 代表取締役 小泉 耕二 様
- ゲストスピーカー : 株式会社インターネットイニシアティブ 岡田 晋介 様
アドバンテック株式会社 古澤 隆秋・松本 整・Michael Pulling

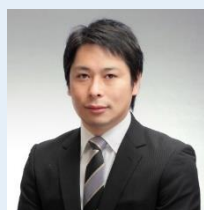
<登壇者>



【モデレーター】

小泉 耕二 さん

株式会社アールジーン(R.GENE.,Inc.) 代表取締役取締役およびIoT NEWS代表。フジテレビLive News αコメンテーターとしても活躍している。



【スピーカー】

岡田 晋介 さん

株式会社インターネットイニシアティブ IoTビジネス事業部長



【スピーカー】

古澤 隆秋

アドバンテック株式会社IIoT事業統括責任者として、製造業IoT化に貢献すべくコラボレーションを中心に新たなビジネス戦略を立ち上げている改革者。



【スピーカー】

松本 整

アドバンテック株式会社IIoT 事業部 中小企業診断士



【スピーカー】

Michael Pulling

アドバンテック株式会社IIoT 事業部 PSM (プロダクト・セールス・マーケティング)

※ 本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。

アドバンテックについて

台湾 Advantech Co., Ltd. (TAIDEX:2395)は、1983年の創業以来 e プラットフォームのリーディング・プロバイダとして、産業用コンピューティングやオートメーション市場における高品質でハイパフォーマンスな製品の開発・製造および販売に携わっており、現在では世界26カ国96都市に拠点を構えるグローバル企業です。得意とする組み込み用ボードコンピュータや産業用PC、リモートI/Oモジュールや産業用マザーボードの販売に加え、お客様のニーズにきめ細かくお応えする産業用コンピュータのBTOサービスや、お客様の要求仕様に合わせて製品の設計から生産までを請け負うDMSビジネスも行なっています。また、近年コーポレートビジョンである「インテリジェント・プラネットの実現」を具現化するスマートシティ&IoTソリューション・ビジネスの開拓に注力する当社は、積極的な製品およびソリューション開発に務めるとともに、さまざまなエコパートナー企業とのパートナーシップの強化を図っています。このようなエコパートナー企業との緊密な協力関係、および自らの研究開発投資によって、インテリジェント・システムを様々な産業に普及させ、地球上のあらゆる労働環境と生活環境をより豊かでスマートなものにしていくこと、- インテリジェント・プラネットの実現 - が、我々 Advantech の使命です。

(ホームページ: www.advantech.co.jp)